

第8次美幌町社会教育中期計画

2022～2027

(令和4年度～令和9年度)



『夢を育む体験！
あたたかい人を
つくるまちづくり』の
実現を目指して



美幌町教育委員会



はじめに

平成28年度から6か年にわたり推進してきた「第7次美幌町社会教育中期計画」が令和3（平成33）年度に最終年次を迎え、基本目標である「夢を育む体験！あたたかい人をつくるまちづくり」の実現を目指して、町民各位の多大なるご理解とご協力のもと、社会教育関係各課が一丸となって諸問題の解決に努めてまいりました。

しかしながら平成から令和へと時代が移り変わる中、社会環境変化のスピードは以前にも増して早くなっているものと認識しており、多様化・複雑化・高度化する社会環境に対応するため住民の多様な学習ニーズ実現や、こうした社会を生き抜くために必要とされる学習の提供など、社会教育行政が取り組むべき事項が山積しております。

美幌町教育委員会では、第6期美幌町総合計画において掲げられている教育分野の基本目標である「夢を育む体験！あたたかい人をつくるまちづくり」、そして美幌町教育目標の実現に向かってさらに力強く社会教育行政を推し進める必要があることから、令和2年9月に「第8次美幌町社会教育中期計画」の策定について社会教育委員長へ諮問、令和4年1月に答申をいただきました。

本計画策定にあたっては、美幌町社会教育委員の研究調査等により令和1年度から熱心にご議論いただいた経過を踏まえ、本計画の推進目標を令和2年度に設定、令和3年度には社会教育委員の他社会教育活動奨励員・スポーツ推進委員・博物館協議会委員・図書館協議会委員を加えた21名で「第8次美幌町社会教育中期計画策定委員会」が組織され、大きく3つの柱からなる本計画の推進目標をもとに社会教育関係各課が取り組むべき具体的内容について協議・議論されたと伺っております。

策定委員の皆様には大変短い期間ではありましたが精力的にご審議を賜り、その内容を十分に尊重しながら、教育委員会として本計画を策定するに至りました。この間の皆様のご尽力に、心より深く感謝とお礼を申し上げます。

本計画の推進目標は大変短い言葉でまとめられておりますが、その背景にある各課の取組をこれまで以上に充実したものとするために学校・家庭・地域それぞれが持つ力を結集し、時代の変化を的確に捉えながら真に必要なとされる学びを惜しみなく提供していくという「熱意」が本計画には詰まっているものと考えております。

本計画を今後6年間の本町社会教育行政推進の核とし、町民各位のより一層のご理解・ご協力を賜りますよう心からお願いを申し上げる次第であります。

美幌町教育委員会

教育長 矢 萩 浩

第8次美幌町社会教育中期計画 目次

はじめに

I 第8次美幌町社会教育中期計画の概要

1. 計画策定の意義・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
2. 本町社会教育の現状と問題・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
3. 計画策定に向けた取組・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
4. 計画の名称と推進期間・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
5. 計画の推進目標・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
6. 計画の構成・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
7. 計画の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
8. 持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取組の推進・・・・・・・・ 7

II 目標推進のための具体的な取組

1. 基本目標の設定・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 1
2. 推進目標と各課の取組・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 1
3. 美幌町教育委員会組織機構・・・・・・・・ 1 2
- 推進目標1 未来と夢を創る人を育てる・・・・・・・・ 1 3
- 推進目標2 ふるさとの魅力を受信・発信・・・・・・・・ 1 4
- 推進目標3 多様性を尊重した学び・・・・・・・・ 1 5
4. 本計画の評価方法・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 6

III 情報提供の充実

1. 現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 9

IV 学習環境の充実

1. 学習支援体制・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 3
2. 施設の整備・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 4

V 第8次美幌町社会教育中期計画策定の取組経過

1. 計画策定に至る経過・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 9
2. 第8次美幌町社会教育中期計画策定委員名簿・・・・・・・・ 3 2
3. 計画策定に寄せる思い・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 4
4. 総合計画、教育目標、教育大綱等との関係・・・・・・・・ 3 7
5. 第8次美幌町社会教育中期計画における取組内容一覧・・・・・・・・ 3 8

資料編

本町の概要（自然的条件・社会的条件）	4 1
社会教育に関する本町と国の動きとの関連	4 3
第 8 次美幌町社会教育中期計画の策定について（諮問）	4 8
第 8 次美幌町社会教育中期計画の策定について（答申）	4 9
美幌町社会教育の歩み（平成 2 8 年度～令和 3 年度）	5 0

I 第8次美幌町社会教育中期計画の概要

1. 計画策定の意義
2. 本町社会教育の現状と問題
3. 計画策定に向けた取組
4. 計画の名称と推進期間
5. 計画の推進目標
6. 計画の構成
7. 計画の位置付け
8. 持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取組の推進

一
本計画の概要

二
具体的取組

三
情報提供

＜
学習環境

＜
取組経過

資料編

1. 計画策定の意義

水多き大いなるところ「ピ・ポロ」。

先人たちは、たくさんの清らかな川に恵まれたこの場所を「ピ・ポロ」と呼び、暮らしの中に息づく美幌川・網走川の豊かな水と恵まれた自然の中で美幌町は発展してきました。

美幌町教育委員会では、平成28年度に「第7次美幌町社会教育中期計画」（以下、「第7次計画」という。）を策定し、社会教育関係各課※（以下、「各課」という。）が「第6期美幌町総合計画」（平成28年度～令和8年度）において定められている基本目標「夢を育む体験！あたたかい人をつくるまちづくり」と「美幌町教育目標」実現のため、「美幌町教育大綱」に示している基本方針に沿った具体的な取組内容を定め、令和3年度までの6か年にわたり推進してまいりました。

この間社会環境は目まぐるしく変貌し、多様化・複雑化する現代社会に対応するために住民が持つ多様な学習ニーズの実現やこうした社会を生き抜くために必要となる学習の提供など、社会教育行政としてこれらの諸問題解決に向けた取組が引き続き必要となっています。

この度策定いたしました「第8次美幌町社会教育中期計画」（以下、「本計画」という。）は、第7次計画の成果や課題、さらに第7次計画推進期間中に新たにに取り組む必要が出てきた事項について検証し、引き続き「第6期美幌町総合計画」や「美幌町教育大綱」の内容を踏まえつつ、時代の変化を的確にとらえ、学校・家庭・地域等あらゆる力を結集して本町社会教育行政のより一層の充実・発展に資するため、令和4年度からの6か年において推進すべき内容を取りまとめたものです。

2. 本町社会教育の現状と問題

第7次計画において定めた3つの推進目標に対する取組については、各年度の事業推進によりどの程度効果を上げてきたのか、美幌町社会教育委員13名が毎年評価してきました。これは行政がそれぞれの推進目標に対して作成する主要事業の評価（各課の行政評価）や社会教育委員による事業視察の結果をもとに、社会教育行政の取組を客観的に評価するものであり、毎年実施してきた単年度評価を積み上げまとめたものを本計画の基礎資料としています。

第7次計画における3つの推進目標に対する平成28年度から令和2年度までの5年間の取組に対する現状と問題点を、社会教育委員からの評価をもとに次のとおり整理しました。

※社会教育関係各課：社会教育・スポーツ振興・博物館・図書館の4課を指す。

(1) 子どもたちの個性や才能を認め合い、生きる力・生きる知恵、郷土愛を育みたい！

子どもたちの協調性や社会性、基本的な生活習慣を高め、自分たちの「夢」を実現させていくことを目標に設定したものです。

現 状	<ul style="list-style-type: none">・住民のニーズをとらえた取り組みを行うことができている・美幌の子どもたちの文化・スポーツにおける活躍から、郷土愛を感じ取ることができている
問題点	<ul style="list-style-type: none">・事業や取組に参加できない（参加しない）人のための取組・子どもの創造性を大切に学習環境の整備・スポーツや文化活動における指導者の不足

(2) 人と人とのつながりを深めたい！

情報技術の急速な発展に伴いコミュニケーションの形態が変化し、直接的なコミュニケーションが不足している中、つながりの重要性を認識し仲間をつくり課題解決を図っていくが必要であるとして設定したものです。

現 状	<ul style="list-style-type: none">・活動内容等工夫を凝らし、多岐にわたり事業展開がされている・町民参加の事業が増えていることが評価できる
問題点	<ul style="list-style-type: none">・家庭における「3世代」の重要性と異世代のつながり・高校生を中心とした若者のコミュニケーション能力の向上・多様なニーズに対応したつながりづくり・中・長期的に信頼関係を築いていけるような事業展開

(3) 一人ひとりの力を引き出し、活躍の場を広げたい！

一人ひとりの学びの意欲を高めていくとともに、様々な取組にチャレンジしていくことでいきいきと輝くことができる機会を広げていく必要があるとして設定したものです。

現 状	<ul style="list-style-type: none">・各課における取組自体は評価できる・特にスポーツの分野は子どもたちの活躍が見受けられる
問題点	<ul style="list-style-type: none">・活動を支える指導者の育成、人材発掘・障がいの有無や国籍などにとらわれない誰もが学習できる環境づくり・子どもから社会に出るまで一貫した学びを提供すること

5. 計画の推進目標

本計画の推進目標は、令和2年度社会教育委員の研究調査において社会教育委員13名の総意により決定した次の3項目です。第7次計画で6年間取組を進めてきた推進目標については評価をもとにして全て見直し、新たな推進目標を設定して計画を推進していくこととしました。

また、「町民の皆様にも理解されやすいものに」との共通認識に立った中で社会教育行政を推進していくことを意識し、推進目標3項目については短く平易な言葉でまとめています。

【3つの推進目標】

- | | |
|-------|---------------|
| 推進目標1 | 未来と夢を創る人を育てる |
| 推進目標2 | ふるさとの魅力を受信・発信 |
| 推進目標3 | 多様性を尊重した学び |

6. 計画の構成

本計画は、大きく次の2項目により構成しています。

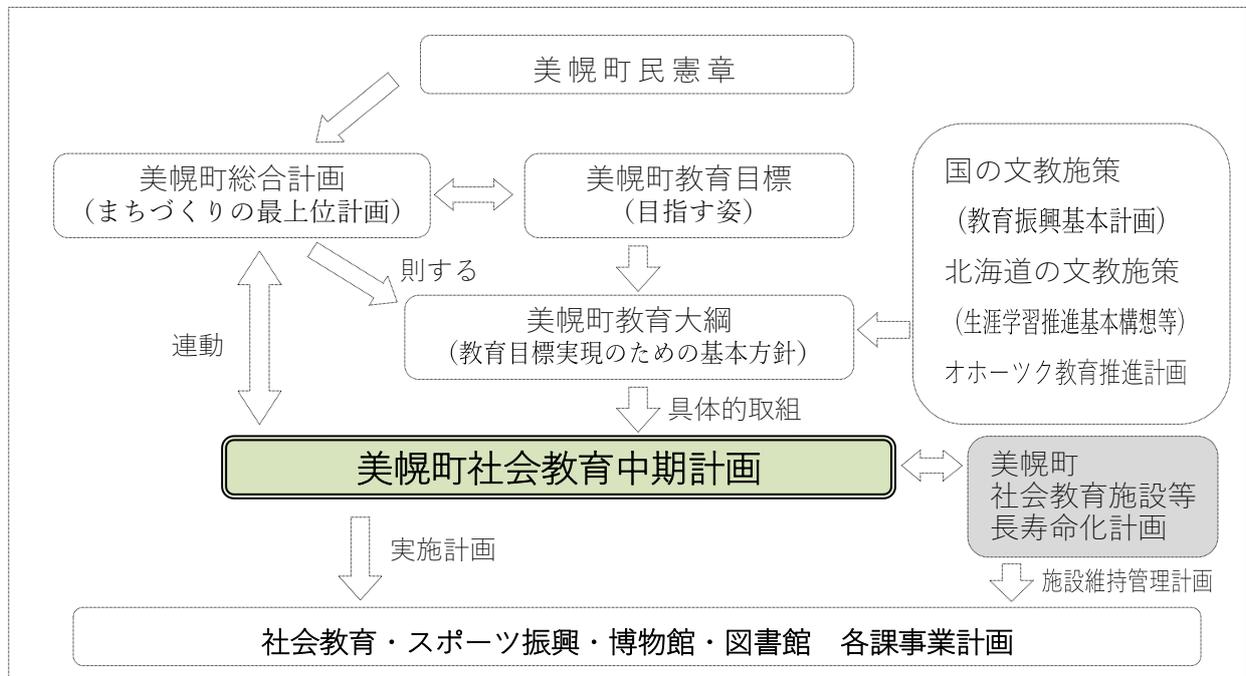
(1) 本計画の核となる3つの推進目標に基づく各課の取組

美幌町教育目標実現のため、「第6期美幌町総合計画」や「美幌町教育大綱」に基づき、中長期的な社会教育行政推進の観点から各課における具体的取組を定めています。

(2) 各課の取組を支える学習基盤

各課の取組を支える学習基盤として、第7次計画に引き続き「情報提供」と「学習環境」の2項目を柱とし、町民にわかりやすくニーズに応じた基盤整備の方策を定めています。

7. 計画の位置づけ



8. 持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取組の推進

「持続可能な開発目標（SDGs）」は、2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」において掲げられている17のゴールと169のターゲットのことを言います。SDGs採択前に取り組まれていたMDGs（ミレニアム開発目標）が主に発展途上国における取組であったことに対し、SDGsは先進国を含むすべての国々の取組目標を定めており、全世界共通の目標として貧困の撲滅など誰一人取り残さない包摂的な世界の実現を目指すことが理念として掲げられています。

本計画で定める各課の取組については、国際社会全体で取り組むこととされている「SDGs」において掲げられている理念を取り入れながら推進してまいります。

持続可能な開発目標（SDGs）17項目の目標と具体的内容

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



(https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/sdgs_logo/より)

<p>1 貧困をなくそう</p>	<p>1. 貧困をなくそう あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ</p>	<p>7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する</p>	<p>13. 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>13. 気候変動に具体的な対策を 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る</p>
<p>2 飢餓をゼロに</p>	<p>2. 飢餓をゼロに 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する</p>	<p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>8. 働きがいも経済成長も すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を推進する</p>	<p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>14. 海の豊かさを守ろう 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する</p>
<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>3. すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する</p>	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>9. 産業と技術革新の基盤をつくろう 強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る</p>	<p>15 陸の豊かさを守ろう</p>	<p>15. 陸の豊かさを守ろう 陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る</p>
<p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>4. 質の高い教育をみんなに すべての人に包摂的(※)かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する</p>	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>10. 人や国の不平等をなくそう 国内および国家間の格差を是正する</p>	<p>16 平和と公正をすべての人に</p>	<p>16. 平和と公正をすべての人に 持続可能な開発に向けて平和と包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する</p>
<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>5. ジェンダー平等を実現しよう ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>11. 住み続けられるまちづくりを 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする</p>	<p>17 パートナースhipで目標を達成しよう</p>	<p>17. パートナースhipで目標を達成しよう 持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する</p>
<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<p>6. 安全な水とトイレを世界中に すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する</p>	<p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>12. つくる責任 つかう責任 持続可能な消費と生産のパターンを確保する</p>		

(<https://imacocollabo.or.jp/about-sdgs>より)

II 目標推進のための具体的な取組

1. 基本目標の設定
 2. 推進目標と各課の取組
 3. 美幌町教育委員会組織機構
- 推進目標1 未来と夢を創る人を育てる
推進目標2 ふるさとの魅力を受信・発信
推進目標3 多様性を尊重した学び
4. 本計画の評価方法

一
本計画の概要

二
具体的取組

三
情報提供

＜
学習環境

＜
取組経過

資料編

1. 基本目標の設定

第7次計画では、本町の最上位計画である「第6期美幌町総合計画」における教育分野の目標であり「美幌町教育大綱」の基本目標でもある「夢を育む体験！あたたかい人をつくるまちづくりの実現を目指して」を基本目標として設定しました。

「第6期美幌町総合計画」の期間が令和8年度までとなっていることから、本計画においては、第7次計画において定めた基本目標を引き継ぎます。

●基本目標

「夢を育む体験！あたたかい人をつくるまちづくり」の実現を目指して

2. 推進目標と各課の取組

本計画において、次のとおり新たに3つの推進目標とこれらに基づく各課の取組を定めました。推進目標はこれまでと同様に、世代横断的に取り組むべき目標として設定しています。

基本目標である「夢を育む体験！あたたかい人をつくるまちづくり」を町民の皆様とともに実現するために推進目標と各課の取組、さらには該当となるSDGsの項目に基づき美幌町の社会教育を推進していきます。

推進目標 1

未来と夢を創る人を育てる

推進目標 2

ふるさとの魅力を受信・発信

推進目標 3

多様性を尊重した学び

該当となる
SDGsの項目



3. 美幌町教育委員会組織機構

(令和3年4月1日現在)

部 局	課 名	グループ名	主な事務・事業
教育委員会			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">教育長</div>			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">教育部長</div>	学校教育課	総務グループ 学校教育グループ	委員会会議、学校全般、教員住宅、就学、教職員、不登校相談
	学校給食課	学校給食グループ	学校給食全般 センター管理運営
	社会教育課	社会教育グループ 文化振興グループ	各世代を対象とした講座等の実施 青少年の健全育成 芸術文化活動の振興
	スポーツ振興課	スポーツ振興グループ	スポーツの普及振興 体力向上の環境整備
	博物館課	博物館グループ	美幌町の自然、歴史、芸術に関する資料の収集と活用 文化財の調査保護とその普及啓蒙
	図書館課	図書館グループ	図書館の機能強化 きれめのない読書活動の推進

推進目標 1

未来と夢を創る人を育てる

「未来を担う人材」として子どもたちはもちろんのこと、子どもたちを育成・指導する大人たちも重要な役割を担っており、子ども・大人関係なく育てていく必要があります。

インターネットがあれば世界中の人々と交流ができるようになった昨今、美幌町を元気にしてくれる人たちのみならず、美幌町で生まれ育ったことに誇りを持ちグローバルに活躍する人材を育成していきます。

高度に情報化された現代社会をチャンスととらえ、外部からの刺激を受け個々の成長につなげる。そして自己肯定感※を高めていくことで、「未来と夢を創る人」にあふれた美幌町を目指します。

各課の取組

取組内容	担当課
<ul style="list-style-type: none">・親子で体験することをとおして、親と子が自ら学ぶきっかけをつくる取組・地域での学びを支える新たなコミュニティの形成を目指す取組	社会教育 (社会教育・文化振興)
<ul style="list-style-type: none">・多くのスポーツに触れる機会をつくり、スポーツを好きになる子どもたちの育成・各種スポーツにおける指導者の発掘・育成とスキルアップの支援・トップアスリートを目指す子どもたちの育成	スポーツ振興
<ul style="list-style-type: none">・美幌町の自然、歴史、芸術に触れる機会を増やすための事業を実施・SDGsに係る学習プログラムを提案	博物館
<ul style="list-style-type: none">・いつでもだれでも本と触れ合える環境づくり・国際化のニーズに合わせた情報の提供・異文化交流のかけはしとなる場の提供	図書館

※自己肯定感：「ありのままの自分を肯定する、好意的に受け止めることができる感覚」を指す。他人と比較するのではなく、そのままの自分を認め、尊重し自己価値を感じることができる心の状態。

推進目標 2

ふるさとの魅力を受信・発信

美幌町には人・もの・自然など魅力にあふれた資源がたくさんあります。しかし、その場所で生活をしてしまうと本町の持つ魅力に気付かない、あるいは見過ごしてしまいがちになります。

美幌町がどのような町で、どのような資源があるか町民の皆様に再確認してもらうことが必要です。こうした魅力を再確認あるいは発見（=受信）し、その良さを知ってもらうため、あらゆる機会をとらえて町内外に積極的に発信していくことで本町の良さを多くの人々に知ってもらい、「訪れてみたい！」と思われる美幌町を目指します。

各課の取組

取組内容	担当課
<ul style="list-style-type: none">・ 誰もがふるさとの受信者・発信者となれるように、必要な学びの機会をつくる取組・ 美幌町の芸術文化を高め、文化活動の裾野を広げていく取組	社会教育 (社会教育・文化振興)
<ul style="list-style-type: none">・ 町民のスポーツにおける活動状況や活躍・指導者の情報を広く発信する取組・ 美幌町のアスリートを町民一体となって応援する取組	スポーツ振興
<ul style="list-style-type: none">・ 美幌町の自然、歴史、芸術に係る資料を収集・ 美幌町の魅力に関する、学習機会の充実・ SNS や印刷物などを使った情報発信の充実	博物館
<ul style="list-style-type: none">・ 誰でも見やすく探しやすい郷土資料の整備・ 美幌町に関わる情報の積極的な収集と発信・ 町民が情報を活かす場の提供	図書館

推進目標 3

多様性を尊重した学び

国際化・多様化の流れは私たちの生活のありようを大きく変えています。国や年齢、性別の違い、障がいの有無やそれぞれが持つ価値観の相違にとらわれることなく人々の持つ多様性を尊重し、その人の「ありのまま」を受け入れられる美幌町を目指します。

「美幌町に住んでいてよかった」「私の居場所が美幌町にある」と思ってもらえるよう、あらゆる方々に対する学びの機会提供や個々に合わせた必要な援助・サポート等、町民の理解をより一層深めながら、今後ますます進んでいく国際化・多様性の時代へ対応していきます。

各課の取組

取組内容	担当課
<ul style="list-style-type: none">・多様性のある社会についての学びを広め、互いに認め合う取組・生まれ育った国や文化の違いを理解し、互いに主役となって学びを広める取組・ニーズに応じた学びを提供する取組	社会教育 (社会教育・文化振興)
<ul style="list-style-type: none">・スポーツを通じて様々な環境にある人々が交流し、つながりあえる取組・町民のニーズに応じた体力づくりやスポーツ体験の推進・指導者や活動を支える支援者が多様性について学び、育成する体制の整備	スポーツ振興
<ul style="list-style-type: none">・異世代が交流し、多様な文化を学ぶ・個々の学びを様々な施設で支援	博物館
<ul style="list-style-type: none">・町民の活躍の場及び交流の場の提供・様々な世代への学びの場の提供・多様な人々が安心して利用できる空間の提供	図書館

4. 本計画の評価方法

策定委員会では、本計画で定める3つの推進目標に基づく「各課の取組」を設定しました。

これを受けて、本計画の推進期間である令和4年度から令和9年度までの間は3つの推進目標がどの程度達成されているか、新たな課題はないかなどについて、社会教育委員による単年度評価を引き続き行っていきます。

具体的には、年度当初の社会教育委員会議において「各課の取組」に基づいた単年度計画を提示し、個別の事業説明に加えて事業実施をとおしてどのような効果を期待するかなどを明らかにします。社会教育委員はこれらの内容を踏まえて、各課の取組状況を確認するための事業視察を行い、本計画の推進状況を年度末に評価します。

年度末においては、単年度計画に対する実績・問題点等を行政内で評価し、この評価をもとに各課にヒアリングを行った上で社会教育委員が客観的に評価します。評価結果は、翌年度以降の事業内容改善の一助としていくとともに、単年度評価をまとめたものを次期となる第9次美幌町社会教育中期計画の基礎資料とします。

(図) 単年度計画・評価例

課名		社会教育課		
推進目標1：未来と夢を創る人を育てる				
令和4年度の重点事業				
取組	事業名	事業内容	ページ	事業番号
各推進目標に該当する事業のうち、単年度重点事業を年度当初に計画で明示。				
反省評価	事業実績に基づき、各課における評価を年度末に行う。(単年度計画に対する実績をA～Eの5段階で評価し、評価の理由を明示する)			

III 情報提供の充実

1. 現状と課題

一
本計画の概要

二
具体的取組

三
情報提供

＜
学習環境

＜
取組経過

資料編

1. 現状と課題

個人におけるスマートフォンの所有率は国内において7割に迫る勢いとなっており（総務省、令和2年度情報通信白書より）、言わば片手で操作できるパソコンを国民の半数以上が所有している状況となっています。また各種 SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）や動画配信サイトなど不特定多数の方とつながり、情報を得るための手段は多種多様化し、第7次計画を推進している6年間で飛躍的に進化しました。

一方、本計画の推進目標2において「ふるさとの魅力を受信・発信」という項目が定められたことは、「必要とする人に必要な情報が届いていないのではないか」という社会教育委員会議で幾度となく指摘されてきた問題を解決したいという決意でもあり、これまでの情報提供のあり方をゼロベースで見直し広報やチラシによる参加者募集のみならず、ターゲットを明確にしたり、動画配信による PR を行ったりするなどして本町の魅力を1人でも多くの方に届け、そしてあらゆる媒体を活用してその魅力を行政・関係団体等が連携しながら内外に発信していくことが必要であるとの認識から、第7次計画と同様本計画推進の根幹と位置付けます。

各課の取組

社会教育課（社会教育・文化振興）

- 教育委員会公式 YouTube チャンネル、町ホームページ・SNS を活用した講座情報、青少年健全育成啓発等の配信
- びほろっ子プレイガイドの内容充実とホームページへの掲載
- 文化事業の把握と全町的な情報発信

スポーツ振興課

- 各関係機関や団体との情報共有及び発信
- 施設の利用状況、各教室等の SNS、ホームページを活用した情報発信
- スポーツに関わる町民の活躍の発信
- 競技者・指導者の活躍に関する情報の積極的な発信

博物館課

- ホームページや SNS による情報発信
- 町広報やグリーンレターの内容充実
- 資料目録のデータベース化とインターネット配信
- 他博物館や関係団体と連携した活動の充実

図書館課

- 各種「図書館だより」の充実
- 図書館ホームページの内容充実及び SNS の活用
- 郷土資料のデジタル化の継続及び活用
- 特集展示やコーナーの充実

IV 学習環境の充実

1. 学習支援体制
2. 施設の整備

一
本計画の概要

二
具体的取組

三
情報提供

＜
学習環境

<
取組経過

資料編

1. 学習支援体制

多様化・高度化する町民の学びを支え、深めていくためには、各課の専門職員（社会教育主事・体育主事・学芸員・司書・教員退職者等）が学習相談への対応、学習要求のニーズ把握とこれらに基づいた学習等の企画・立案を行っていくとともに、人と人とを結ぶコーディネーターとしての役割を担うことが重要です。また時代とともに町民の学びの形もさらに多様化しているため、それらに対応できるよう豊富な知識・経験を有する地域人材を行政のみならず関係団体等と連携しながら把握していきます。また新たな指導者の養成も喫緊の課題であることから、各課で実施する事業や関係団体における諸活動を通じて新たな指導者確保を意識しながら先を見据えて取組を進めます。

社会教育課（社会教育・文化振興）

- 社会教育活動奨励員、青少年育成指導員等地域人材を活用した社会教育・青少年健全育成のさらなる普及・啓発
- 様々な経験や知識・技能を有する人材の把握及び関係団体との情報共有による支援体制の充実・ネットワーク化
- 青少年育成専門推進員及び生涯学習推進員の活用
- びほーる等の利用促進に伴う舞台での指導及び運営体制の充実

スポーツ振興課

- 美幌町スポーツ推進計画の策定
- 地域指導者の育成とスキルアップへの支援体制の整備
- スポーツボランティアの発掘及び活用
- スポーツ推進アドバイザーの活用
- 地域指導者、他市町村との連携による育成指導体制の充実・強化

博物館課

- ボランティアの育成と学習支援体制づくり
- 主体的に博物館活動を推進できる人材の育成
- 職員体制の充実

図書館課

- 司書の能力向上を図る研修機会の充実
- 図書館ボランティアの発掘・養成及び協力体制の充実
- 学校図書館支援のための職員体制の充実

2. 施設の整備

より豊かでうるおいのある生活が求められている今日、集い学ぶために必要な「場所」の整備は必要不可欠です。教育委員会ではこれまでも各課が所管する多くの施設を整備してきましたが、年数の経過やニーズの多様化に伴い改修・修繕を実施しながら各施設の管理・運営を行っており、今後も計画的な学習環境の維持・整備を進めていく必要があることから、令和3年度に「美幌町社会教育施設等長寿命化計画」（個別施設計画）を策定し、今後この計画に基づき施設維持管理経費の平準化と中長期的な視点に立った施設の適正維持・管理に努めていきます。

第7次計画期間中における施設整備関連の動きは、町民会館については耐震強度不足やバリアフリー等の問題から改築が必要との判断に至り、平成28年度から平成30年度まで改築工事を実施し、平成30年9月にオープン、供用を開始しました。屋内多目的運動場整備については、令和2年11月に「サニーセンター」としてオープンし、天候・季節問わず誰もが気軽に運動に親しめる施設として利用されています。また図書館については建設後40年以上が経過し経年劣化が著しく見られることから、第6期美幌町総合計画に図書館増改築の検討が明記されました。これを受け、新たな図書館建設に向けた検討を進めています。

各課の取組

社会教育課所管				
No.	施設名	建築年	現状	今後の取組
1	美幌町 マナビティーセンター	H13	現在40程度の団体・サークルが利用する拠点施設となっている他、青少年健全育成の拠点施設ともなっている。開館から20年が経過し、突発的な修繕の対応が多くなっている傾向にあることから、計画的な修繕及び適切な維持管理が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ○施設内外の年次修繕計画の立案と実施 ○サークル活動の発表機会をととした文化面の環境醸成 ○施設備品の適切な維持管理
2	美幌町民会館	S44 (H30改築) びほーる H24	平成24年度のびほーるオープンに引き続き、平成30年9月に町民会館本体の改築が完了。町民の多様なニーズに応える施設として引き続き適切な利用環境の維持が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ○年次計画に基づくびほーる舞台設備の修繕と適正な管理運営 ○快適な使用を継続するための施設維持管理

IV 学習環境の充実

スポーツ振興課所管				
No.	施設名	建築年	現状	今後の取組
屋内体育施設				
1	美幌町 スポーツセンター	S46	令和2年度に屋内多目的運動施設「サニーセンター」が完成し、スポーツ施設の充実が図られた。またスポーツセンターは平成30年度に耐震改修やLED化など大規模改修を行った。一方トレーニングセンターは平成25年に実施した耐震診断で耐震不足が指摘されており、その他の設備充実も併せ改修が必要となっている。あさひ体育センターは建築後30年以上経過し、照明のLED化や煙突の改修が必要となっている。B&G海洋センターについても建築後30年が経過し、給排水設備や照明設備などが老朽化している。	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツセンターのPCB廃棄物処理及び電気室配電盤の改修 ○トレーニングセンターの耐震・その他老朽化した箇所改修 ○あさひ体育センターの煙突改修とLED化 ○B&G海洋センターの大規模修繕とLED化 ○サニーセンターの計画的な保全
2	美幌町 トレーニングセンター	S51		
3	美幌町B&G海洋センター	H03		
4	美幌町 あさひ体育センター	S63		
5	美幌町屋内多目的運動場 「サニーセンター」	R02		
屋外体育施設				
6	柏ヶ丘公園 (陸上競技場・野球場・少年野球場・歩くスキーコース)		柏ヶ丘公園陸上競技場は、令和2年度に日本陸上連盟4種公認の競技場として更新整備したがルール改正や施設の老朽化が問題となっている。歩くスキーコースは圧雪車の導入により、より良いコース造成が望まれる。あさひ公園多目的運動広場はラグビー合宿やサッカーの管内大会等で利用されており、芝生の適正な維持管理が必要である。網走川河畔公園パークゴルフ場は平成28年に公認コースの認定を取得し、より良好な芝生の維持やコース整備が望まれる。冬季のスケートリンクは降雪不足や温暖化によりコース造成に苦慮している。リリー山スキー場は、リフトを整備してから20年が経過し、また圧雪車も20年を経過することから更新整備が必要となっている。	<ul style="list-style-type: none"> ○陸上競技場の公認検定に合わせた計画的な整備 ○野球場・少年野球場の全道大会等の開催に必要な整備 ○圧雪車による歩くスキーコースの適切なコース整備の検討 ○あさひ公園多目的運動広場の適切な芝生の整備と維持管理 ○パークゴルフ場の年次的な芝生の更新と適切な維持管理 ○スケートリンクの年次的な路盤の整備と適切なリンク造成 ○年次的・計画的なリフトの更新整備と圧雪車更新の検討
7	あさひ公園多目的運動広場	H01		
8	美幌町(いなみ)テニスコート	H01		
9	美富公園テニスコート	S51		
10	網走川河畔公園 (パークゴルフ場・スケートリンク)			
11	美幌町ソフトボール場 (旧美幌中学校グラウンド)	H30		
12	美幌町リリー山スキー場	S40		
その他				
13	学校施設の開放		地域に開かれた運動施設の有効利用として、利用団体が自主的に管理運営されている。冬季は屋外競技種目の室内活動により利用が集中するため、スポーツセンターやサニーセンターも含めた利用調整が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ○学校との利用調整と円滑で効率的な利用団体の利用調整

博物館課所管

No.	施設名	建築年	現状	今後の取組
1	美幌博物館	S62	<p>美幌町の自然、歴史、芸術に係る資料の収集・保存・調査研究を行い、それら資料を活用した教育普及活動を推進。</p> <p>開館から30年を越え、収集された資料を適切に保管・管理していくための収蔵庫が必要。また、時代のニーズに合わせた、常設展の更新が望まれる。</p> <p>施設も老朽化が進んできたため、計画的な修繕及び適切な維持管理が必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○収蔵スペースの確保 ○常設展示の展示更新 ○経年による施設劣化に対する整備

図書館課所管

No.	施設名	建築年	現状	今後の取組
1	美幌町図書館	S54	<p>現在の図書館は、建築後42年が経過し、屋根、暖房設備、給水設備など、建物自体の老朽化に加え、蔵書数の増加による狭小化や図書館利用者の駐車場不足などから、「第6期美幌町総合計画」及び「美幌町公共施設等総合管理計画」において、新たな図書館整備に向けた検討を行うこととしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「図書館整備基本構想」及び「図書館整備基本計画」の策定 ○全ての利用者に対応出来る機能と、新たなサービスの検討 ○適切な蔵書数の検討 ○効率的な維持管理・運営の検討



美幌町民会館・びほーる



美幌町マナビティーセンター



サニーセンター（屋内体育施設）



柏ヶ丘公園（屋外体育施設）



美幌博物館



美幌町図書館



サニーセンター（人工芝アリーナ）



美幌博物館（1階第2展示室）



美幌町図書館（1階書架）

V 第8次美幌町社会教育中期計画策定の取組経過

1. 計画策定に至る経過
2. 第8次美幌町社会教育中期計画策定委員名簿
3. 計画策定に寄せる思い
4. 総合計画、教育目標、教育大綱等との関係
5. 第8次美幌町社会教育中期計画における取組内容一覧

一
本計画の概要

二
具体的取組

三
情報提供

＜
学習環境

＜
取組経過

資料編

1. 計画策定に至る経過

令和2年		
9月4日		本計画策定について、教育委員会教育長より社会教育委員長へ諮問
9月25日		令和2年度 美幌町社会教育委員会議（第3回）開催 ●本計画策定に向けて策定委員会を組織することが決定
令和3年		
3月8日		美幌町社会教育関係委員等（中期計画策定委員候補者を含む）研修会 講演「社会教育中期計画に求められるもの」（オンライン開催） 講師 元北星学園大学社会福祉学部 教授 河野 和枝 氏
3月25日		令和2年度 美幌町社会教育委員会議（第6回）開催 ●本計画の推進目標3項目が決定
7月8日		策定委員会議（第1回）開催 ○正副委員長の選出 ○本町社会教育に関する概要説明 ○計画策定までのスケジュールと今後の取り進め方 ○各課協議（部会）
7月9日		各課協議（部会）開催（～11月18日）
12月22日		策定委員会議（第2回）開催 ○各課協議（部会）の内容報告 ○本計画（答申案）審議 ●答申案について原案承認、今後正副委員長と事務局に答申までの作業が一任される
令和4年		
1月27日		令和3年度 美幌町社会教育委員会議（第5回）開催 ●答申案の内容について最終協議し承認
1月27日		社会教育委員長より教育委員会教育長へ本計画を答申

令和4年		
2月9日	教育委員会臨時会開催	○答申報告 ●本計画（案）の決定
2月12日	意見公募（パブリックコメント）手続開始（～3月13日）	
3月14日	パブリックコメント結果公表（2件の意見書提出）	●提出された内容は参考意見として取扱い、原案修正なしを決定
3月25日	教育委員会定例会開催	●パブリックコメントの結果及び本計画決定報告

各課協議（部会）の取組経過

本計画における3つの推進目標に基づく「各課の取組」について、策定委員21名を4つのグループに分け、令和3年7月から11月までの間各課協議（部会）が行われました。

（1）社会教育部会協議

7月8日	第1回協議	○正副部会長の選出、今後の進め方について確認
7月26日	第2回協議	○現状と課題に関する意見交換
8月23日	第3回協議	○取組案の検討と意見交換
9月27日	第4回協議	○取組案の検討と意見交換
10月25日	第5回協議	○取組案の提示
11月11日	第6回協議	○取組案の決定、文言等調整

（2）スポーツ振興部会協議

7月8日	第1回協議	○正副部会長の選出
9月21日	第2回協議	○今後の会議の進め方について ○推進項目に関するスポーツの課題について意見交換

V 第8次美幌町社会教育中期計画策定の取組経過

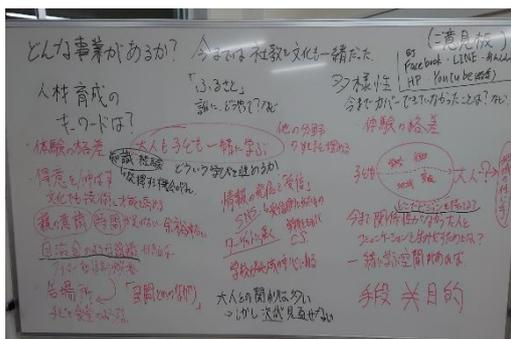
- 10月12日 第3回協議
 ○第2回協議で出された意見の確認
 ○取組案の検討
- 11月2日 第4回協議
 ○取組案の検討と文言調整

(3) 博物館部会協議

- 7月8日 第1回協議
 ○正副部会長の選出、各推進目標に対する取組についての検討
- 8月19日 第2回協議
 ○取組案の提示と意見交換
- 8月31日 第3回協議
 ○取組内容の決定

(4) 図書館部会協議

- 7月8日 第1回協議
 ○正副部会長の選出、今後の進め方についての確認
- 8月31日 第2回協議
 ○推進目標に対する取組に対する意見交換
- 9月30日 第3回協議
 ○推進目標に対する取組に対する意見交換
- 10月28日 第4回協議
 ○推進目標に対する取組(案)の提示
- 11月18日 第5回協議
 ○取組内容の決定



2. 第8次美幌町社会教育中期計画策定委員名簿

(任期 令和3年7月8日～令和4年3月31日)

No.	氏名	所属
1	関谷正樹	社会教育委員
2	伊與部明	社会教育委員
3	牛島吉蔵	社会教育委員(委員長) 策定委員会委員長
4	伊藤善啓	社会教育委員
5	辻朱美	社会教育委員
6	杵師美和子	社会教育委員(副委員長) 策定委員会副委員長
7	茂手木敏夫	社会教育委員
8	澤田孝一	社会教育委員
9	宮崎奈津江	社会教育委員
10	寺田義博	社会教育委員
11	國澤智子	社会教育委員
12	下山朋久	社会教育委員
13	西谷内弘子	社会教育委員
14	西野奈美	社会教育活動奨励員
15	片山悦子	社会教育活動奨励員
16	今井紀幸	スポーツ推進委員
17	尾形美幸	スポーツ推進委員
18	竹次康人	博物館協議会委員
19	井上裕子	博物館協議会委員
20	中川能典	図書館協議会委員
21	種田郁子	図書館協議会委員

V 第8次美幌町社会教育中期計画策定の取組経過

各課協議（部会）別名簿

(1) 社会教育部会

策定委員		教育委員会職員	
氏名	所属	氏名	職名
牛島 吉 蔵	社会教育委員	松尾 まゆみ	社会教育課長
寺田 義 博	社会教育委員(部会代表)	山本 敦 士	社会教育主事(文化振興グループ主査)
下山 朋 久	社会教育委員	野村 太 一	社会教育主事(社会教育グループ主査)
西野 奈 美	社会教育活動奨励員		
片山 悦 子	社会教育活動奨励員		

(2) スポーツ振興部会

策定委員		教育委員会職員	
氏名	所属	氏名	職名
伊與部 明	社会教育委員	浅野 謙 司	スポーツ振興課長
伊藤 善 啓	社会教育委員	山本 敦 士	社会教育主事(兼)スポーツ振興グループ主査)
茂手木 敏 夫	社会教育委員(部会代表)	庭本 和 義	社会教育主事(スポーツ振興グループ)
國澤 智 子	社会教育委員	太田 祥 子	体育主事(スポーツ振興グループ)
今井 紀 幸	スポーツ推進委員		
尾形 美 幸	スポーツ推進委員		

(3) 博物館部会

策定委員		教育委員会職員	
氏名	所属	氏名	職名
澤田 孝 一	社会教育委員	鬼丸 和 幸	博物館課長
辻 朱 美	社会教育委員	町田 善 康	学芸員(博物館グループ主査)
西谷内 弘 子	社会教育委員	八重柏 誠	学芸員(博物館グループ)
竹次 康 人	博物館協議会委員	城坂 結 実	学芸員(博物館グループ)
井上 裕 子	博物館協議会委員(部会代表)		

(4) 図書館部会

策定委員		教育委員会職員	
氏名	所属	氏名	職名
関谷 正 樹	社会教育委員	竹花 史 康	図書館長
杵師 美和子	社会教育委員	岡部 有 佳	司書(図書館グループ主査)
宮崎 奈津江	社会教育委員(部会代表)	相原 知 枝	司書(図書館グループ)
中川 能 典	図書館協議会委員	田村 圭 一	主事(図書館グループ)
種田 郁 子	図書館協議会委員		

3. 計画策定に寄せる思い

第8次計画の策定を終えて～感謝そして期待～

委員長 牛島吉蔵

第7次計画では策定委員の1人として、そして第8次計画では委員長として計画づくりに係わる機会をいただきました。良い経験をさせていただきましたことに感謝申し上げます。

3項目の目標を決める話し合いは、それぞれの委員の違った視点での考え方も伺いながら議論を重ねて、決定するまでに2か年を要しました。その多くが「なるほど」と理解できるものであり、本計画をとおしてより良い社会教育の推進を目指していこうとする姿勢が感じられたことが何より印象的でありました。社会教育委員13名の総意として推進目標3項目が決定し、令和3年7月からは策定委員21名での議論が始まりました。熱心に議論を重ねた結果、委員全員の思いが詰まった計画ができたものと自負しております。

社会の変化はスピードも速く、またコロナなどの不安要素もあって今後の状況を予測するのは大変難しいと思われませんが、本計画がより良い町になっていくための一助となればうれしい限りです。

最後になりましたが策定委員の皆様、私たちの話し合いを支えていただいた各課・各館事務局の皆様にご感謝申し上げます。

策定委員を振り返り

副委員長 佐師美和子

平成27年度に第7次、そして今回第8次と2回の中期計画策定に携わる機会をいただきました。

7月～12月までの長きにわたり限られた時間の中で社会教育、スポーツ振興、博物館、図書館と4つの部会に分かれ、それぞれの立場の方々により策定委員21名で何度も何度も協議され、意見交換が行われました。

さらに美幌町の職員の力強い協力のもと中期計画を策定することができたと思います。皆様にご大変深く感謝申し上げます。

今後、第8次美幌町社会教育中期計画に基づき本町社会教育行政が推進されていき、美幌町の子どもたちから高齢者の方々まで「元気で明るい美幌町」「住みよい美幌町」と思われるよう取り組み、社会教育が充実していくことを願っています。

計画策定に寄せる思い

社会教育部会 寺田 義博

私が初めて策定委員会に参加させていただいた6年前の第7次に続き、この度2度目となる第8次中期計画策定委員会となりました。第7次の対象期間は2016年から2021年までの6年間でしたが、その間、当時の委員の皆さんと熱心に話し合いを重ねながら生み出した3つの推進目標の言葉を時々心に留めながら過ごすようにしていました。

私自身、稼業や社会教育活動以外にも学校の役員、商店会、自治会などの活動に身を置いておりました。与えられた責任を全うすることは私にとってとても大変なことでした。しかしまわりの人々のご理解とご協力のおかげで何とかやってこられたように思います。

その間、公私とも色々な出来事がありました（近頃はコロナウイルス対応でしたが）。それでも私の心が大きくぶれずにいられたのは、いつもお付き合いいただいたまわりの人々からの励ましの言葉や多くの激励の言葉、そして数々の課題や難問に共に取り組んだ仲間との話し合いの中で得られた言葉、また読んだ書物の中で出会った言葉に救われてきたように思います。そして3つの推進目標も、私の様々な活動の場面を支える大切な言葉の一つとなっていました（3つの推進目標は第7次と第8次合わせて改めてご一読くださると幸いです）。

今回も委員の皆様と話し合う中でとても良い言葉に出会えたと感じています。特に推進目標3「多様性を尊重する」のフレーズに特別な意味を感じています。また社会教育課の取組の話し合いの中では「親と子が（大人と子どもが）一緒に学ぶ」というキーワードが生まれました。思いの込められた言葉は世の中を良くしていくと信じています。

少々大げさな話かもしれませんが、現代は世の中が大きく変化しつつある最中にあります。今後は価値観の異なったティーンエイジャーから責任世代までの人々が一緒にテーブルに着いて、これまで当たり前とされてきた常識にとらわれすぎることなく改善・改革していくことが必要だと感じます。これからの美幌町社会教育のみならず様々な現場で世代やジェンダー、職種や役職、国や文化の違いを超えた心の通った交流・対話・熟議される場が生まれ、それらを重ね合わせながら豊かで住んでいて誇らしい美幌町に成長することを願っています。

最後になりますが、我々が放つ言葉一つひとつの意味を汲み取り、文脈が崩れないよう丁寧な文章と一緒に考えてくれた教育委員会職員の皆様、そして拙い進行役に辛抱強くお付き合いいただき、貴重なご意見をくださった委員の皆さんに心から感謝いたします。

中期計画策定に寄せて

スポーツ振興部会 茂手木 敏夫

20名のスポーツ推進委員を代表して社会教育委員を引き受けさせていただき、そして2度目の策定委員として今回の第8次の社会教育中期計画策定に携わらせていただきました。

各委員の皆さんが、それぞれの立場や置かれている環境から様々な意見を出し合いながら会議を重ねていく中で、各委員の皆さんがスポーツの振興、生涯スポーツの大切さ、そして美幌町の未来への期待と希望が大きくなっていくように感じられました。

スポーツは「行う」だけでなく「見る」「支える」といった多様なかわりがあり、未来の地域社会の構築、地域再生にとってなくてはならないものです。3つの推進目標とそれに沿ったそれぞれの取組によって、一人でも多くの町民がそれぞれの立場でスポーツに関わり、さらにはスポーツ団体の育成、支援を通じて町民のふれあいの場が増えることと思います。

今回の第8次社会教育中期計画が、未来のアスリートの育成と支援、生涯スポーツの充実と拡充の1つの指針となることを願っています。

教育こそ美幌町の力なり

博物館部会 澤田孝一

教育は、過去に創り出された知識や技能を次世代へ伝えるプロセスであり、学びがより良い未来を創り出します。だからこそ教育力がある町は、活力に満ち、未来を切りひらく力があります。

今回、私は博物館協議会委員という立場で、美幌町の教育の根幹をつくる機会を得ました。身に余る重役に押しつぶされそうになりながらも、誠心誠意勤め、何とか役目を終えることができました。これもひとえに、計画策定に関わられた委員の皆様、事務局の皆様のご尽力であると、ここに深く感謝申し上げます。

この度策定された第8次社会教育中期計画は、美幌町の先人たちの知識を蓄えた「博物館課」や「図書館課」はもちろん、たくさんの学びと体験の場を提供する「社会教育課」や「スポーツ振興課」の皆様が存分に力を発揮するための礎となるはずです。そして本計画が、美幌町の未来を照らす大きな光になることを願い、私の計画策定への思いとさせていただきます。

中期計画に思いを込めて

図書館部会 宮崎奈津江

この社会教育中期計画図書館部会と図書館整備検討委員会は同時期に行われました。ですから、必然的に未来の図書館の検討内容が同じ方向になりました。

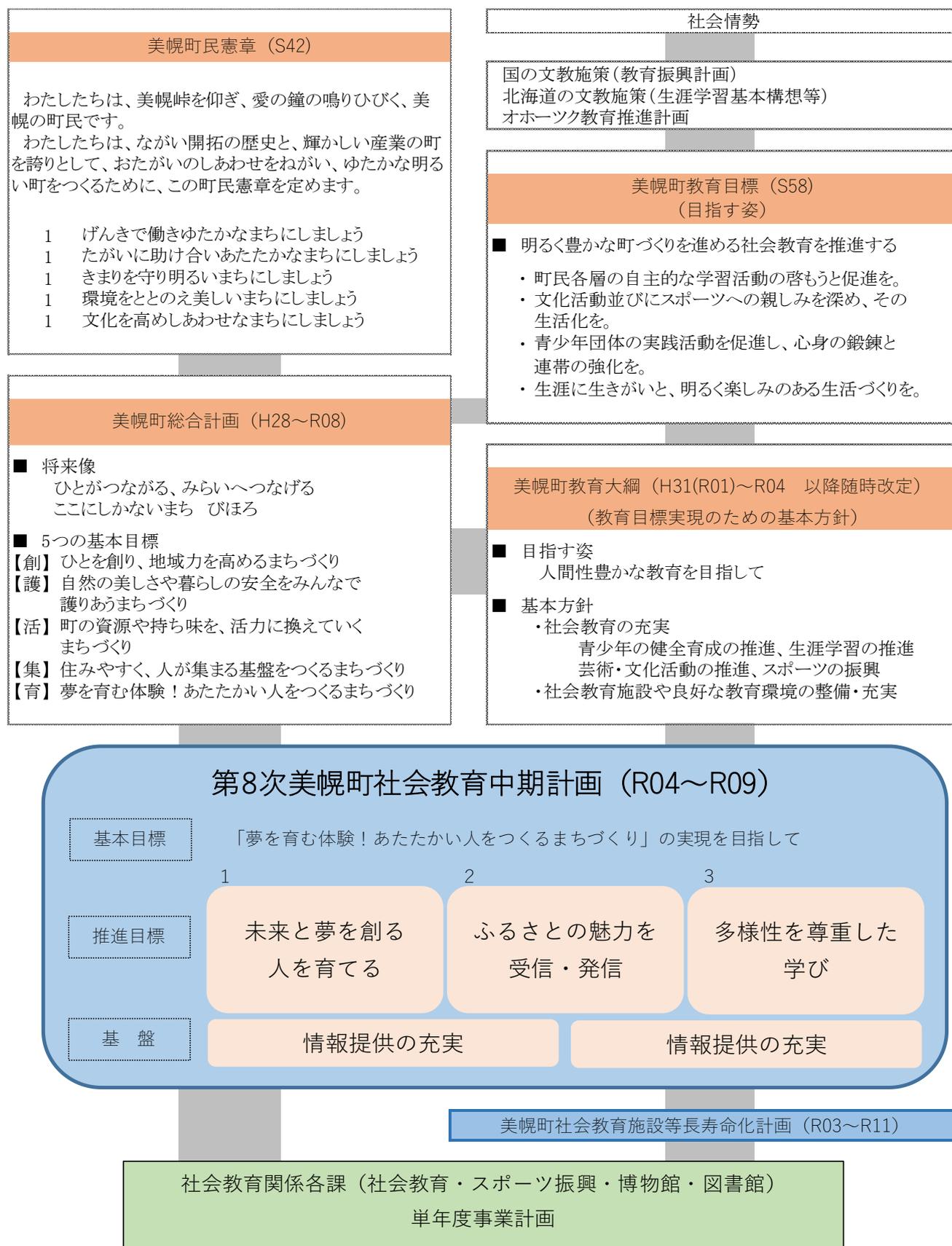
図書館部会の計画参加者は図書館の職員、司書の方々、小学校の校長先生、自治会や図書館に携わっている方、女性部会、社会教育のボランティアの方、私は肩書がないので主婦、子育て世代からの参加、このようなメンバーで取り組みました。その中で美幌の教育委員会が素晴らしいのは、私のような社会教育や図書館の事業がわからない委員でも話し合いができるようにしてくださることです。例えば活動の情報、アンケート、地域の動向などの提供、また実際の視察も行いました。それらを基に繰り返し話し合いを重ね、策定してきました。伝える言葉一つひとつに委員の意見を取り入れて進めてきました。私たち町民の希望が活かされた計画になったと実感しています。

図書館は誰もが平等に無料でサービスが受けられる場所です。図書館の職員の方は日々最善を尽くして個々に合わせたサービスをされています。大切なことは私たちの意識なのかもしれません。

素晴らしい計画ができました。一緒に美幌オリジナル図書館を盛り上げ作っていきましょう。

V 第8次美幌町社会教育中期計画策定の取組経過

4. 総合計画、教育目標、教育大綱等との関係



第8次美幌町社会教育中期計画における取組内容一覧

基本目標 「夢をはぐくむ体験！あたたかい人をつくるまちづくり」の実現を目指して		
推進目標 1 未来と夢を創る人を育てる	担当課	基盤 情報提供の充実
<div style="text-align: center; border: 1px solid black; background-color: #e0f0e0; padding: 2px;">各課の取組</div> <ul style="list-style-type: none"> ○親子で体験することとおして、親と子が自ら学ぶきっかけをつくる取組 ○地域での学びを支える新たなコミュニティの形成を目指す取組 ○多くのスポーツに触れる機会をつくり、スポーツを好きになる子どもたちの育成 ○各種スポーツにおける指導者の発掘・育成とスキルアップの支援 ○トップアスリートを目指す子どもたちの育成 ○美幌町の自然、歴史、芸術に触れる機会を増やすための事業を実施 ○SDGsに係る学習プログラムを提案 ○いつでもだれでも本と触れ合える環境づくり ○国際化のニーズに合わせた情報の提供 ○異文化交流のきっかけはしとなる場の提供 	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; background-color: #e0f0e0; padding: 2px;">各課の取組</div> <ul style="list-style-type: none"> ○教育委員会公式YouTubeチャンネル、町ホームページ・SNSを活用した講座情報、青少年健全育成啓発等の配信 ○びほろっ子プレイガイドの内容充実とホームページへの掲載 ○文化事業の把握と全庁的な情報発信 ○各関係機関や団体との情報共有及び発信 ○施設の利用状況、各教室等のSNS、ホームページを活用した情報発信 ○スポーツに関わる町民の活躍の発信 ○競技者・指導者の活躍に関する情報の積極的な発信 ○ホームページやSNSによる情報発信 ○町広報やグリーンレターの内容充実 ○資料目録のデータベース化とインターネット配信 ○他博物館や関係団体と連携した活動の充実 ○各種「図書館だより」の充実 ○図書館ホームページの内容充実及びSNSの活用 ○郷土資料のデジタル化の継続及び活用 ○特集展示やコーナーの充実 	
<div style="text-align: center; border: 1px solid black; background-color: #e0f0e0; padding: 2px;">各課の取組</div> <ul style="list-style-type: none"> ○誰もがふるさとの受信者・発信者となるように、必要な学びの機会をつくる取組 ○美幌町の芸術文化を高め、文化活動の裾野を広げていく取組 ○町民のスポーツにおける活動状況や活躍・指導者の情報を広く発信する取組 ○美幌町のアスリートを町民一体となって応援する取組 ○美幌町の自然、歴史、芸術に係る資料を収集 ○美幌町の魅力に関する学習機会の充実 ○SNSや印刷物などを使った情報発信の充実 ○誰でも見やすく探しやすい郷土資料の整備 ○美幌町に関わる情報の積極的な収集と発信 ○町民が情報を活かす場の提供 	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; background-color: #e0f0e0; padding: 2px;">各課の取組</div> <ul style="list-style-type: none"> ○社会教育活動奨励員、青少年育成指導員等地域人材を活用した社会教育・青少年健全育成の更なる普及・啓発 ○様々な経験や知識・技能を有する人材の把握及び関係団体との情報共有による支援体制の充実・ネットワーク化 ○青少年育成専門推進員及び生涯学習推進員の活用 ○びほーる等の利用促進に伴う舞台での指導及び運営体制の充実 ○美幌町スポーツ推進計画の策定 ○地域指導者の育成とスキルアップへの支援体制の整備 ○スポーツボランティアの発掘及び活用 ○スポーツ推進アドバイザーの活用 ○地域指導者、他市町村との連携による育成指導体制の充実・強化 ○ボランティアの育成と学習支援体制づくり ○主体的に博物館活動を推進できる人材の育成 ○職員体制の充実 ○司書の能力向上を図る研修機会の充実 ○図書館ボランティアの発掘・養成及び協力体制の充実 ○学校図書館支援のための職員体制の充実 	
推進目標 2 ふるさとの魅力を受信・発信	担当課	基盤 学習支援体制
<div style="text-align: center; border: 1px solid black; background-color: #e0f0e0; padding: 2px;">各課の取組</div> <ul style="list-style-type: none"> ○多様性のある社会についての学びを広め、互いに認め合う取組 ○生まれ育った国や文化の違いを理解し、互いに主役となって学びを広める取組 ○ニーズに応じた学びを提供する取組 ○スポーツを通じて様々な環境にある人々が交流し、つながりある取組 ○町民のニーズに応じた体力づくりやスポーツ体験の推進 ○指導者や活動を支える支援者が多様性について学び、育成する体制の整備 ○異世代と交流し多様な文化を学ぶ ○個々の学びを様々な施設で支援 ○町民の活躍の場及び交流の場の提供 ○様々な世代への学びの場の提供 ○多様な人々が安心して利用できる空間の提供 	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; background-color: #e0f0e0; padding: 2px;">各課の取組</div> <ul style="list-style-type: none"> ○社会教育活動奨励員、青少年育成指導員等地域人材を活用した社会教育・青少年健全育成の更なる普及・啓発 ○様々な経験や知識・技能を有する人材の把握及び関係団体との情報共有による支援体制の充実・ネットワーク化 ○青少年育成専門推進員及び生涯学習推進員の活用 ○びほーる等の利用促進に伴う舞台での指導及び運営体制の充実 ○美幌町スポーツ推進計画の策定 ○地域指導者の育成とスキルアップへの支援体制の整備 ○スポーツボランティアの発掘及び活用 ○スポーツ推進アドバイザーの活用 ○地域指導者、他市町村との連携による育成指導体制の充実・強化 ○ボランティアの育成と学習支援体制づくり ○主体的に博物館活動を推進できる人材の育成 ○職員体制の充実 ○司書の能力向上を図る研修機会の充実 ○図書館ボランティアの発掘・養成及び協力体制の充実 ○学校図書館支援のための職員体制の充実 	
推進目標 3 多様性を尊重した学び	担当課	基盤 施設の整備
<div style="text-align: center; border: 1px solid black; background-color: #e0f0e0; padding: 2px;">各課の取組</div> <ul style="list-style-type: none"> ○多様性のある社会についての学びを広め、互いに認め合う取組 ○生まれ育った国や文化の違いを理解し、互いに主役となって学びを広める取組 ○ニーズに応じた学びを提供する取組 ○スポーツを通じて様々な環境にある人々が交流し、つながりある取組 ○町民のニーズに応じた体力づくりやスポーツ体験の推進 ○指導者や活動を支える支援者が多様性について学び、育成する体制の整備 ○異世代と交流し多様な文化を学ぶ ○個々の学びを様々な施設で支援 ○町民の活躍の場及び交流の場の提供 ○様々な世代への学びの場の提供 ○多様な人々が安心して利用できる空間の提供 	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; background-color: #e0f0e0; padding: 2px;">各課の取組</div> <ul style="list-style-type: none"> ○社会教育活動奨励員、青少年育成指導員等地域人材を活用した社会教育・青少年健全育成の更なる普及・啓発 ○様々な経験や知識・技能を有する人材の把握及び関係団体との情報共有による支援体制の充実・ネットワーク化 ○青少年育成専門推進員及び生涯学習推進員の活用 ○びほーる等の利用促進に伴う舞台での指導及び運営体制の充実 ○美幌町スポーツ推進計画の策定 ○地域指導者の育成とスキルアップへの支援体制の整備 ○スポーツボランティアの発掘及び活用 ○スポーツ推進アドバイザーの活用 ○地域指導者、他市町村との連携による育成指導体制の充実・強化 ○ボランティアの育成と学習支援体制づくり ○主体的に博物館活動を推進できる人材の育成 ○職員体制の充実 ○司書の能力向上を図る研修機会の充実 ○図書館ボランティアの発掘・養成及び協力体制の充実 ○学校図書館支援のための職員体制の充実 	
<div style="text-align: center; border: 1px solid black; background-color: #e0f0e0; padding: 2px;">各課の取組</div> <ul style="list-style-type: none"> ○多様性のある社会についての学びを広め、互いに認め合う取組 ○生まれ育った国や文化の違いを理解し、互いに主役となって学びを広める取組 ○ニーズに応じた学びを提供する取組 ○スポーツを通じて様々な環境にある人々が交流し、つながりある取組 ○町民のニーズに応じた体力づくりやスポーツ体験の推進 ○指導者や活動を支える支援者が多様性について学び、育成する体制の整備 ○異世代と交流し多様な文化を学ぶ ○個々の学びを様々な施設で支援 ○町民の活躍の場及び交流の場の提供 ○様々な世代への学びの場の提供 ○多様な人々が安心して利用できる空間の提供 	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; background-color: #e0f0e0; padding: 2px;">各課の取組</div> <ul style="list-style-type: none"> ○社会教育活動奨励員、青少年育成指導員等地域人材を活用した社会教育・青少年健全育成の更なる普及・啓発 ○様々な経験や知識・技能を有する人材の把握及び関係団体との情報共有による支援体制の充実・ネットワーク化 ○青少年育成専門推進員及び生涯学習推進員の活用 ○びほーる等の利用促進に伴う舞台での指導及び運営体制の充実 ○美幌町スポーツ推進計画の策定 ○地域指導者の育成とスキルアップへの支援体制の整備 ○スポーツボランティアの発掘及び活用 ○スポーツ推進アドバイザーの活用 ○地域指導者、他市町村との連携による育成指導体制の充実・強化 ○ボランティアの育成と学習支援体制づくり ○主体的に博物館活動を推進できる人材の育成 ○職員体制の充実 ○司書の能力向上を図る研修機会の充実 ○図書館ボランティアの発掘・養成及び協力体制の充実 ○学校図書館支援のための職員体制の充実 	

資料編

- 本町の概要（自然的条件・社会的条件）
- 社会教育に関する本町と国の動きとの関連
- 第8次美幌町社会教育中期計画の策定について（諮問）
- 第8次美幌町社会教育中期計画の策定について（答申）
- 美幌町社会教育の歩み（平成28年度～令和3年度）

一
本計画の概要

二
具体的取組

三
情報提供

＜
学習環境

＜
取組経過

資料編

○本町の概要～自然的条件

1. 位置



位置

(1)東経

自 143° 54' 57"
至 144° 20' 09"

(2)北緯

自 43° 35' 44"
至 43° 53' 29"

面積

東西 33.8km 南北 32.9km
総面積 438.41 km²

※美幌町例規集「美幌町の位置面積」による

北海道の東部、オホーツク海岸から 30km に位置し西に北見市、南は津別町・弟子屈町、東は大空町・津別町に接しています。

2. 地勢

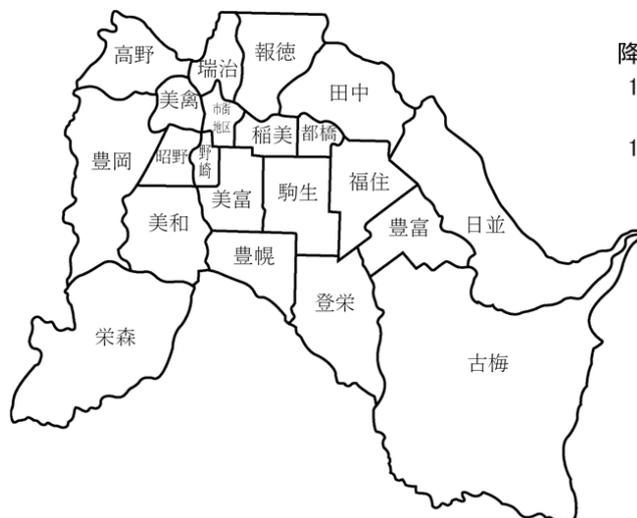
高い山や険しい山はありません。東南部の山脈や釧路管内との境界であり、これに連なる美幌峠は一大景観を呈しています。町内には網走川・美幌川などが貫流し、東南部のゆるやかな丘陵から平原に連なる沃野には約 1 万ヘクタールの田畑が開けています。

3. 気象

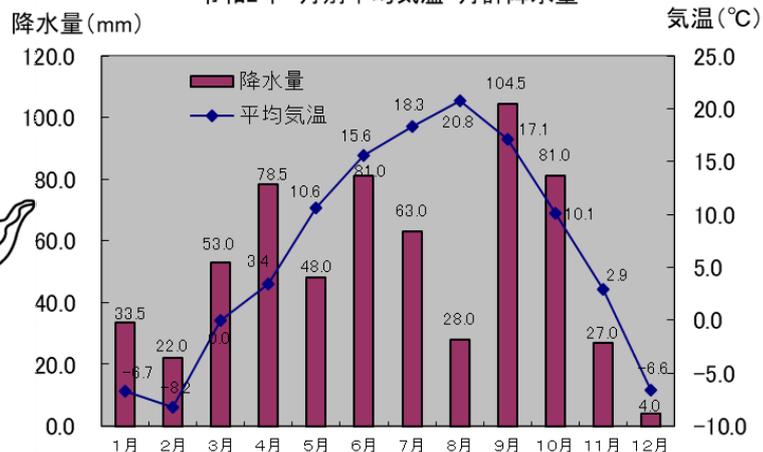
オホーツク海沿岸の延長にあることから、海流・流氷などの影響を受けやすくなっています。

全道的な気象の激変以外は通年でおおむね安定しており、平均気温 5℃～7℃を示し、農業好適地であるほか過ごしやすいところです。降水量は年間を通じて少なく収穫期の雨量が少ないため、豆類・麦類の栽培に大変適した土地となっています。

美幌町全図

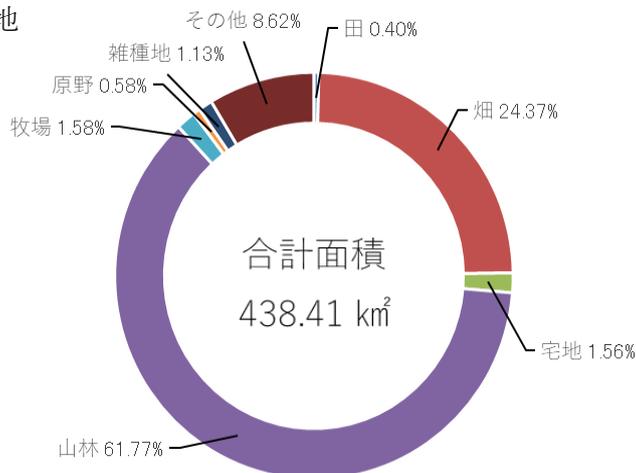


令和2年 月別平均気温・月計降水量



○本町の概要～社会的条件

1. 土地



※合計面積は、美幌町例規集「美幌町の位置面積」による

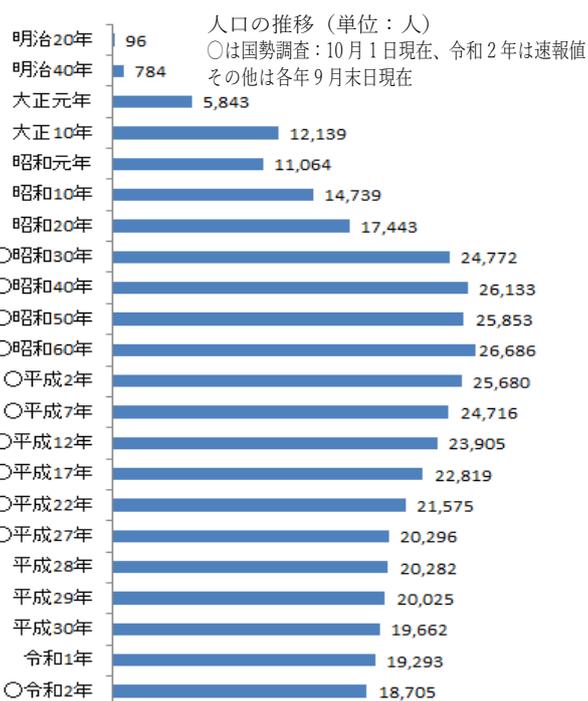
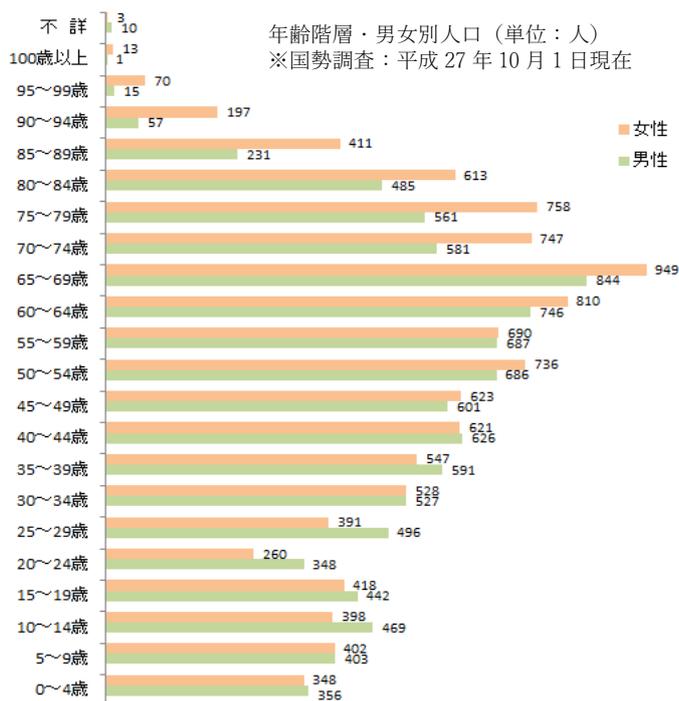
地目別土地面積

(令和2年1月1日 概要調査等報告書)

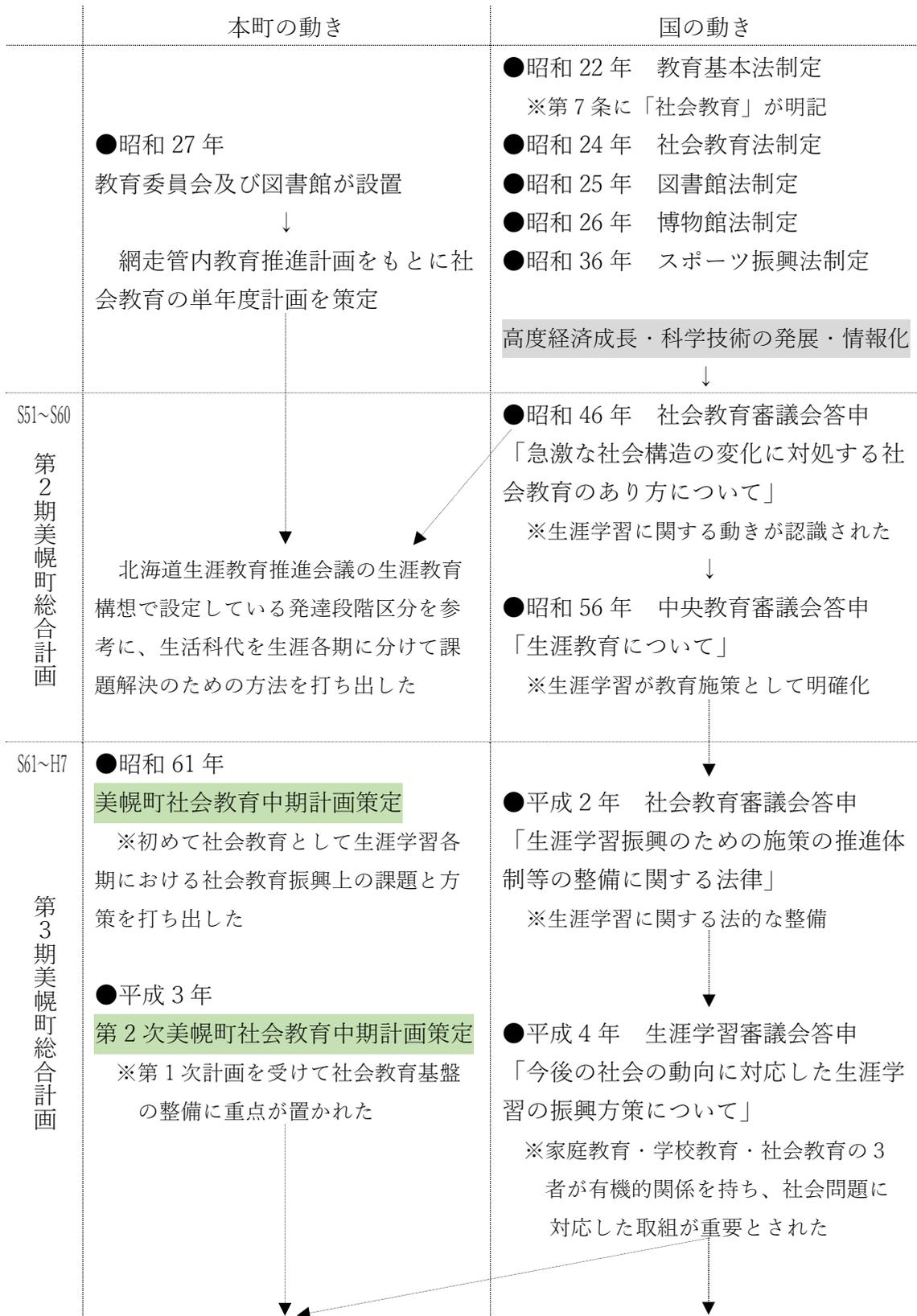
地目	面積
田	1.77 km ²
畑	106.82
宅地	6.85
山林	270.79
牧場	6.92
原野	2.54
雑種地	4.95
その他	37.77
計	438.41

2. 人口 (国勢調査：各年10月1日現在)

	世帯数	人口			人口密度	1世帯当たり人数 (普通世帯)	人口集中地区の推移			
		総数 (A)	男	女			人口集中地区 (B)	集中地区の割合 (A/B)	人口集中面積	集中人口密度
昭和40年	6,294	26,133	13,204	12,929	60.0	4.02	12,464	47.7%	1.9 km ²	6,560.0
昭和45年	6,855	25,916	13,039	12,877	59.5	3.64	17,783	68.6%	3.7 km ²	4,806.2
昭和50年	7,464	25,853	12,964	12,889	59.4	3.37	19,108	73.9%	4.4 km ²	4,342.7
昭和55年	7,969	26,534	13,427	13,107	61.0	3.30	20,490	77.2%	5.2 km ²	3,940.4
昭和60年	8,089	26,686	13,405	13,281	61.3	3.25	20,034	75.1%	5.2 km ²	3,852.7
平成2年	8,280	25,680	12,768	12,912	58.5	3.07	17,811	69.4%	5.1 km ²	3,492.4
平成7年	8,499	24,716	12,256	12,460	56.4	2.84	17,813	72.1%	5.1 km ²	3,492.7
平成12年	8,760	23,905	11,790	12,115	54.5	2.66	16,415	68.7%	4.5 km ²	3,664.1
平成17年	8,883	22,819	11,127	11,692	52.1	2.50	15,473	67.8%	4.4 km ²	3,508.6
平成22年	8,725	21,575	10,456	11,119	49.2	2.40	14,012	64.9%	4.25 km ²	3,296.9
平成27年	8,626	20,296	9,763	10,533	46.3	2.28	13,273	65.4%	4.15 km ²	3,198.3



○社会教育に関する本町と国の動きとの関連



H8~H17

第4期美幌町総合計画

本町の動き

- 平成 8 年
第3次美幌町社会教育中期計画策定
※美幌町社会教育基礎調査をもとに生涯学習の考え方を計画に盛り込んだ
- ▼
- 平成 13 年
第4次美幌町社会教育中期計画策定
※社会教育振興上の課題を5項目に整理し、課題解決に向けた横断的な取組をまとめた
- ▼
- 平成 14 年
子どもたちの健全育成への方針策定
- ▼
- 平成 16 年
美幌町青少年健全育成推進プラン「びほろ青少年輝きプラン 2004」策定
- ▼

国の動き

- 平成 8 年 生涯学習審議会答申
「地域における生涯学習機会への充実方策について」
※当面する課題に対し、地域社会の中で様々な学習機会を提供している機関や施設の生涯学習機能の充実
- ↓
- 平成 11 年 生涯学習審議会答申
「青少年の【生きる力】をはぐくむ地域社会の環境の充実方策について」
※子どもの心を豊かに育むためには、家庭や地域社会で様々な体験活動の機会を子どもたちに「意図的」「計画的」に提供する必要がある
- ↓
- 平成 12 年 生涯学習審議会答申
「新しい情報通信技術を活用した生涯学習の振興方策について」
※いつでも、どこでも、誰でも情報を活用できるようにするため、生活体験や自然体験などの学習機会を充実することに配慮しつつ、新しい情報通信技術を活用した学習機会の拡大が必要
- ↓
- 平成 14 年 中央教育審議会答申
「青少年の奉仕活動・体験活動の推進方策等について」
※幅広く「奉仕活動」について、日常的に活動を行い、個人が社会に参画し相互に支え合うような社会を目指すことが必要
- ▼

H18~H27

第5期美幌町総合計画

本町の動き

●平成 18 年

第5次美幌町社会教育中期計画策定

※社会教育振興上の課題を5項目に整理し、社会参加活動の促進を中心に課題解決に向けた横断的な取組をまとめた

美幌町子どもの読書推進計画策定

●平成 23 年

第6次美幌町社会教育中期計画策定

※社会教育振興上の課題を5項目に整理し、社会参加活動の促進を中心に課題解決に向けた横断的な取組をまとめたほか、美幌町青少年健全育成推進プランの内容を統合する形で引き継いだ

第2次美幌町子どもの読書推進計画策定

第6次美幌町社会教育中期計画単年度評価開始

※第6次計画で設定した5つの課題に対し、各施設別の事業評価（行政評価）をもとに各課題で定めている「みんなで見つめるポイント」の単年度での成果を社会教育委員が確認・評価。次期計画の基礎資料とすることとした

国の動き

●平成 18 年 教育基本法改正

※公共の精神や伝統と文化の尊重を協調し、生涯学習に関する条文を追加



●平成 19 年 中央教育審議会答申

「次代を担う自立した青少年の育成に向けて」

※青少年の意欲を高め、心と体の相伴った成長を促すための重視すべき視点と方策が示された



●平成 20 年 中央教育審議会答申

「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について」

※個々の持つ「知」を社会に還元し、社会全体の持続的な教育力向上に貢献するとした「知の循環型社会」の構築が必要

社会教育法・博物館法・図書館法改正

※教育基本法の改正を踏まえた規程の整備、社会教育施設の運営能力の向上、専門職員の資質向上と資格要件の見直し



●平成 24 年 子ども・子育て支援法制定

※家庭・学校・地域・職場・その他社会のあらゆる分野の全ての構成員がそれぞれの役割に基づき相互協力する旨が明記された



	本町の動き	国の動き
H18~H27 第5期美幌町総合計画	↓ ●平成 27 年 第7次美幌町社会教育中期計画策定 ※第4次計画で設定され第6次計画まで引き継いできた課題を全て見直し、急激に変化する社会環境や本町を取り巻く教育の現状や問題点を踏まえて新たな3項目の推進目標を定め、各施設の連携・協力を重視し、今後6年間推進する具体的取組をまとめた 第3次美幌町子どもの読書推進計画策定 社会教育委員による事業視察開始 ※第7次計画の推進状況について、行政評価のみならず社会教育委員が事業を直接視察し客観的に評価してもらう必要があることから、社会教育委員13名を4グループに分けて事業視察を開始	●平成 25 年 中央教育審議会答申 「今後の青少年の体験活動について」 ※未来の社会を担う全ての青少年に人間的な成長に不可欠な体験を経験させるために、教育活動の一環として体験活動の機会を意図的・計画的に創出することが明記 ↓ ●平成 25 年 第2期教育振興計画 ※教育行政の「4つの方向性」として ①社会を生き抜く力の養成②未来への飛躍を実現する人材養成③学びのセーフティネットの構築④絆づくりと活力あるコミュニティの形成が定められた ↓ ●平成 27 年 中央教育審議会答申 「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」 ※これからの学校と地域の目指すべき連携・協働の姿と、コミュニティスクールの在り方・推進方策について示された
H28~R8 第6期美幌町総合計画	↓	●平成 30 年 第3期教育振興計画 ※教育施策に関する基本的な方針として①夢と志を持ち可能性に挑戦するために必要となる力の育成②社会の持続的な発展をけん引するための多様な力の育成③生涯学び活躍できる環境整備④誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネット構築⑤教育施策推進のための基盤整備が定められた ↓

H28~R8

第6期美幌町総合計画

本町の動き



●令和4年

第8次美幌町社会教育中期計画策定

※第7次計画期間の成果と計画期間中に新たにに取り組む必要があると考えられる事項について、社会教育委員による2か年（R1~R2）の議論を踏まえ、新たに3項目の推進目標を設定。決定した推進目標に基づく各課協議を中心に策定委員会で議論を行った

第4次美幌町子どもの読書推進計画策定

国の動き

●平成30年 中央教育審議会答申
「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」

※今後の地域における社会教育の在り方として①社会教育を基盤とした「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」②開かれ、つながる社会教育の実現のほか、今後の社会教育施設の所管の考え方についても示された

令和 2年 9月 4日

美幌町社会教育委員長 牛 島 吉 蔵 様

美幌町教育委員会
教育長 矢 萩 浩

第8次美幌町社会教育中期計画の策定について（諮問）

美幌町教育委員会では、昭和61年度より5～6か年を期間とする社会教育中期計画を策定し、現在第7次美幌町社会教育中期計画（平成28年度～令和3年度）に基づき社会教育行政の諸施策を取り進めておりますが、現計画が令和3年度をもって最終年度を迎えることから、次期計画となる第8次美幌町社会教育中期計画を策定します。

この間、社会環境は目まぐるしく変貌しており、多様化・複雑化する社会環境に対応するため住民の多様な学習要求の実現や、こうした社会を生き抜くために必要となる学習の提供など、社会教育行政としてこれらの諸問題解決に向けた取組が引き続き必要な状況となっております。

平成30年12月に中央教育審議会において取りまとめられた「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」では社会的に困難な状況に置かれている、あるいは社会的に孤立している住民の学びと社会参画への支援、あらゆる主体（個人、団体・機関等）と協働した地域づくりを社会教育が基盤となって推進することが新たな方向性として求められております。

こうした方向性を踏まえつつ、本町における社会教育行政が果たすべき役割等を再確認しながら、第6期美幌町総合計画における教育分野の基本目標である「夢をはぐくむ体験！あたたかい人をつくるまちづくり」の実現、さらには美幌町教育目標及び美幌町教育大綱に定める基本方針の実現を目指して、学校・地域・家庭等あらゆる力を結集し、時代の変化を的確にとらえながら本町社会教育のより一層の充実を図ってまいりたいと考えております。

つきましては、令和4年度～令和9年度までの6年間を計画期間とする第8次美幌町社会教育中期計画の策定について次のとおり諮問いたします。

記

1. 答申期限 令和4年1月末日まで

令和 4 年 1 月 2 7 日

美幌町教育委員会

教育長 矢 萩 浩 様

美幌町社会教育委員長 牛 島 吉 蔵

第 8 次美幌町社会教育中期計画の策定について（答申）

令和 2 年 9 月 4 日に諮問を受けました第 8 次美幌町社会教育中期計画の策定について、同年 9 月 2 5 日開催の社会教育委員会議において本計画の策定委員会を令和 3 年度に組織することを決定した後、令和 3 年 3 月まで社会教育委員 1 3 名が中心となって本計画の推進目標について議論を重ね、4 月に決定しました。

同年 7 月以降、社会教育委員 1 3 名に社会教育活動奨励員、スポーツ推進委員、博物館協議会委員、図書館協議会委員から各 2 名を加えた 2 1 名で「第 8 次美幌町社会教育中期計画策定委員会」を組織し、社会教育関係各課の具体的な取組を中心に 4 グループに分かれて熱心かつ慎重な審議を重ねてまいりまして、ここに本答申を取りまとめるに至りました。

本計画は美幌町教育目標実現のため、第 6 期美幌町総合計画や美幌町教育大綱で定める基本目標・基本方針等に留意しながら、今後 6 か年にわたり本町社会教育を推進するため基本目標と推進目標 3 項目を定め、推進目標に基づく社会教育関係各課の取組を取りまとめたものです。また推進目標は昨今の社会情勢や本町の教育を取り巻く諸問題について特に重点的に取り組むべき事項として集約したものです。

また推進目標に基づく各課の取組の他、情報提供や施設整備についてもその考え方や取組内容を整理したところです。

教育委員会におかれましては本答申の趣旨を十分にご理解いただき、基本目標実現のためにあらゆる力を結集し、本町社会教育行政の充実・発展のためにより一層努力されることを心からご期待申し上げ、次のとおり答申いたします。

記

1. 第 8 次美幌町社会教育中期計画（答申） 別冊のとおり

○美幌町社会教育の歩み（平成28年度～令和3年度）

※「担当課」の欄：【社】社会教育【体】スポーツ振興【博】博物館【図】図書館

平成28年度

年 月	事 項	担当課
H28		
4	第7次美幌町社会教育中期計画策定、社会教育委員事業視察開始	【社】
4	企画展「家族のじかん」開催	【博】
4	「子ども未来絵本036事業」開始	【図】
5	町民による企画提案型事業「みんなのまなび場応援事業」開始	【社】
7	特別展「びほろ昔ばなし」開催	【博】
8	文化団体招聘鑑賞事業「劇団四季こころの劇場」、芸術文化鑑賞事業「劇団四季ファミリーミュージカル～エルコスの祈り」開催	【社】
8	第32回全国小学生陸上競技交流大会出場（山田 楓河） 小学6年男子100m 優勝	【体】
9	小川慶子教育委員就任	
9	郷土資料デジタル化事業開始	【図】
9	2016リオパラリンピック競技大会出場（久保 恒造） 男子5,000mT54クラス・男子マラソン出場	【体】
10	高齢者教室3町（大空町・津別町・美幌町）交歓会実施	【社】
10	第71回国民体育大会出場（福園 祐理恵） ボウリング競技成年女子 個人戦10位 団体戦2位	【体】
10	ロビー展「アイヌ語地名を歩く～山田秀三の地名研究から～」開催	【博】
12	ベタンク世界選手権大会出場（小成 裕之）	【体】
H29		
1	第28回ユニバーシアード冬季競技大会出場（一戸 誠太郎） スピードスケート競技 マススタート金メダル 男子5,000m銀メダル チームパシュート銀メダル	【体】
2	びほーる共催鑑賞事業「よしもとお笑いまつり in びほろ」開催	【社】
2	ノルディックスキーワールドカップ大会出場（石田 正子） クロスカントリースキー競技 複合女子15km 3位	【体】
2	2017冬季アジア札幌大会出場 （大林 千沙）クロスカントリースキー 20kmリレー 金メダル （一戸 誠太郎）スピードスケート 5,000m 銅メダル 10,000m 銅メダル	【体】
3	企画展「相生線でGO!」開催	【博】
3	さいとうしのぶ絵本ライブ開催	【図】

平成29年度

年 月	事 項	担当課
H29		
4	「教育資源リスト」を「達人大百科～美助っ人～」へ改変	【社】
4	マナビティセンター敷地内に身障者用駐車場整備	【社】
7	特別展「美幌なつかしの学び舎」開催	【博】
9	芸術文化鑑賞事業「ミュージカル～ザ・デイ・サービス・ショウ」開催	【社】
10	第48回ジュニアオリンピック陸上競技大会出場（山田 楓河） 中学1年男子100m 優勝	【体】
10	開館30周年記念日	【博】
10	ロビー展「野崎政長と戸長役場」開催	【博】
12	郷土資料探偵団「あなたの力を貸して下さい」開催	【図】
H30		
2	新規事業「アクティブシニアセミナー」実施	【社】
2	平昌オリンピック冬季競技大会出場 （石田 正子）クロスカントリースキー 女子フリー10km 出場 女子フリー30km クラシカル 10位 （三橋 李奈）バイアスロン 女子7.5km スプリント 出場 女子24km リレー 出場 （一戸 誠太郎）スピードスケート 男子5,000m 9位 男子団体パシュート 5位	【体】
2	第74回国民体育大会冬季大会スキー競技会出場（畔上 凜花） 少年女子5km クラシカル 11位	【体】
3	特別展「大美博展」開催	【博】

平成30年度

年 月	事 項	担当課
H30		
4	びほーる演劇ひろば活動成果発表会「7colors～星を見ながら」開催	【社】
7	社会教育活動奨励員による新規事業「みんなのおうち講座」開催	【社】
7	特別展「アイヌ文化に生きる植物」開催	【博】
7	学校司書巡回開始	【図】
9	美幌町民会館改築オープンとともに、社会教育課社会教育グループ職員の執務場所がマナビティセンターから町民会館へ移転	【社】
9	文化団体招聘鑑賞事業「劇団四季こころの劇場」開催	【社】
9	町民会館オープン記念事業「北守一生・西尾貴浩ふるさとサックスコンサート」「土田英順チャリティコンサート」開催	【社】
9	「英語とあそぼ！」事業開始	【図】
10	町民会館へスタインウェイピアノ（D274）導入を記念し、「清塚信也ピアノリサイタル」開催	【社】
10	絵本作家サトシン講演会開催（図書館と歩む会主催）	【図】
H31		
1	平野浩司教育長辞任	
3	びほーる演劇ひろば活動成果発表会「魔法の学校～あの日描いた未来のために」開催	【社】
3	スポーツセンター耐震改修工事完了	【体】
3	企画展「絵を描く心～岸本裕躬作品より」開催	【博】

平成31（令和1）年度

年 月	事 項	担当課
H31		
4	平野浩司町長就任	
4	絵本作家 山本 孝氏ワークショップ開催	【図】
R01		
6	矢萩 浩教育長就任	
6	学校司書2名体制に変更	【図】
6	「レコードコンサート」事業、「大人のための朗読会」事業開始	【図】
7	マナビティーセンター陶芸窯（15kw）熱線全線交換	【社】
8	おもしろ科学の祭典 in びほろ事業終了	【社】
9	大沼美紀教育委員就任	
9	Fjoy 結成（子どもたちの体験活動充実のための団体）	【社】
9	イマドキ講座「みんなが笑顔になる挑戦～みんなの学校」開催	【社】
9	びほーる共催鑑賞事業「つるの剛士コンサート 2019in びほろ」開催	【社】
9	ロビー展「国立アイヌ民族博物館 PR 展」開催	【博】
10	高齢者教室3町（大空町・津別町・美幌町）交歓会開催	【社】
11	芸術文化鑑賞事業「尾木ママ特別講演会」開催	【社】
11	ロビー展「小さなごみも見逃さない！マイクロプラスチックを探せ！！」開催	【博】
12	第87回全日本スピードスケート選手権大会出場（一戸 誠太郎） オールラウンド選手権部門 優勝（総合得点で日本新記録樹立）	【体】
12	2019年アジアペタンク選手権大会出場（小成 花佳） ジュニアティール 銅メダル 企画展「おひろめコレクション展」開催	【体】
R02		
2	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う公共施設閉鎖	
2	2020世界スピードスケート選手権大会出場（一戸 誠太郎） オールラウンド部門 銅メダル（日本男子23年ぶり）	【体】
2	フォトコンテスト「びほろの自然～峠だけじゃない美幌の魅力」 結果発表（令和1年6月から募集開始）	【博】
3	特別展「写真家 前川貴行の生き物バンザイ！」開催	【博】

令和2年度

年 月	事 項	担当課
R02		
4	教育委員会公式 YouTube チャンネル開設	【社】
4	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う小中学校臨時休校及び公共施設閉鎖	
5	高齢者教室「明和大学」開学以来初の休学（通年）	【社】
5	予約貸出サービス実施	【図】
7	ロビー展「海がないのになぜ！？びほろの海鳥とオホーツクのアホウドリ」開催	【博】
7	「アニメ映画会」事業開始	【図】
9	東海政博教育委員就任	
9	高齢者教室「明和大学」特別学習開催（出席扱としない）	【社】
10	絵本作家 聞かせ屋。けいたろう氏読み聞かせ講座開催	【図】
11	びほーる演劇ひろば活動成果発表会「虹の川～みんなの心を結んでくれるよ」開催	【社】
11	屋内多目的運動場（サニーセンター）オープン	【体】
12	青年活動団体 B-live が結成 10 周年を迎え記念式典が開催される	【社】
12	企画展「おひろめコレクション展」開催	【博】
R03		
1	令和3年美幌町成人の集いをオンライン開催 （教育委員会公式 YouTube チャンネル活用）	【社】
1	第70回全国高等学校スケート競技選手権大会出場（中西 琴菜） 女子 2,000m リレー 優勝	【体】
2	びほーる演劇ひろば活動成果発表会「無の煙～前へ進もう勇気を持って」開催	【博】 【社】
3	特別展「びほろのあけぼの～旧石器時代の遺跡～」開催	【博】
	※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、各課で実施する事業の多くが中止、規模縮小を余儀なくされた	

令和3年度

年 月	事 項	担当課
R03		
5	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う公共施設閉鎖	
6	予約貸出サービス実施	【図】
7	マナビティセンター利用サークル「つなぐぼ」結成	【社】
7	ロビー展「すごい標本！すごい資料！」開催	【博】
8	2020 東京パラリンピック競技大会出場（久保 恒造） 陸上男子 5,000m（T） 54 クラス出場	【体】
10	オホーツク管内社会教育委員連絡協議会北見・斜網地区社会教育 委員等研修会開催	【社】
11	ロビー展「美幌の歴史」開催	【博】
R04		
1	ロビー展「みどりの村でわくわく植物観察」開催	【博】
2	2022 北京オリンピック競技大会出場 （石田 正子） クロスカントリースキー 女子 15km スキーアスロン 27 位 女子 10km クラシカル 27 位 女子 20km リレー 11 位 女子 30km マススタートフリー 26 位 （一戸 誠太郎） スピードスケート 男子 5,000m 12 位 男子 1,500m 10 位 男子マススタート 8 位	【体】
3	特別展「びほろ町4公園の草花図鑑」開催	【博】
3	美幌町社会教育施設等長寿命化計画策定	【社】
4	第8次美幌町社会教育中期計画策定	【社】
6	第4次美幌町子どもの読書推進計画策定	【図】

第8次美幌町社会教育中期計画

発行 2022（令和4）年3月

発行者 美幌町教育委員会

